



Our Work ケア・インターナショナル ジャパンの活動

ケア・インターナショナル ジャパンは、世界 90ヶ国以上で人道支援活動を行う国際 NGO ケア・インターナショナルの一員です。災害時の緊急・復興支援や「女性と女子」の自立支援を通して、貧困のない社会を目指しています。特に「女子教育」「女性の経済的エンパワメント」「母子保健」の分野に注力し、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

活動理念

Vision ビジョン

CARE は、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、寛容で公正な世界を目指します。

Mission ミッション

CARE は、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、世界中でその実現に向けて取り組みます。

Focus フォーカス

CARE は、女性と女子を活動の中心にすえます。貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があるからです。

- ケア・フレンズ岡山
(1992年設立/中島美子会長)
- ケア・フレンズ東京
(1998年設立/柳井敏子会長)
- ケア・サポーターズクラブ大分
(2005年設立/広瀬堯子会長)
- ケア・サポーターズクラブ熊本
(2006年設立/松村勝子会長)
- ケア・フレンズ長野
(2009年設立/塚田稲子会長)
- ケア・サポーターズクラブ佐賀
(2016年設立/中川原三和子会長)
- ケア・サポーターズクラブ北部九州
(2019年設立/山本たえ子会長)
- ケア・サポーターズクラブ鹿児島
(2019年設立/清川照美会長)

変える、女性も女子も活躍する豊かな世界に

ケア・インターナショナル ジャパンは、貧困の根源の解決に向け、災害時の人道支援を行うとともに、「女性と女子」に焦点をあてた活動を通して、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

ケア・サポーターズクラブ佐賀へのご入会お待ちしております

■入会のご案内

1. 正会員個人 年間 12,000円 (月 1,000円)
2. 法人会員 年間 30,000円 (1口)

■口座番号

ケア・サポーターズクラブ佐賀
佐賀銀行 鳥栖支店
(普通) 2136270

入会のお申し込み、お問い合わせは下記事務局まで

ケア・サポーターズクラブ佐賀

〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250-1 (真心の園内)

fax 0942-83-9239

会 長 中川原 三和子 (090-1516-4624)
副会長 安 永 恵子 (090-4439-7479)



2024年8月1日発行

vol.6.7

Supporters Club SAGA 通信

ケア・サポーターズクラブ佐賀 会報誌

発行：ケア・サポーターズクラブ佐賀 事務局/〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町1250-1 (真心の園内)
tel 0942-82-2301代 fax 0942-83-9239 Mail: csc.saga20161005@gmail.com

ご挨拶



ケア・サポーターズクラブ佐賀
会 長 中川原 三和子

2020年の春から猛威をふるったCOVID19ウイルスも、今年5月に2類から5類になり、私たちの生活もようやく以前の賑わいと落ち着きを取り戻し、朝夕の涼しさが心地よい季節となりました。

ケア・サポーターズクラブ佐賀の会員の皆様方におかれましては、お健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナで会報誌の発行も中断しておりましたが、今回2年分をまとめて発行する運びとなりました。この間、日本でのCAREの活動を牽引された加藤睦子様が2021年12月19日ご逝去され、2022年7月8日には安倍晋三首相が銃撃を受けて死去されるという悲しい出来事がございました。

また、2022年2月24日、世界が愕然としたロシアのウクライナ侵攻が勃発し、加えて世界各地での紛争や災害のニュースが後を絶たない状況に何とも言えない悲しさや虚しさを感じる今日この頃です。

平和な日本におりますと、毎日の仕事に追われて忘れがちな事を、CAREの活動を通して思い起こし、皆様方の善意と少しのお時間を頂戴して、今後のCAREの活動を継続して参りたいと思っております。

また、これまではCAREの本部の主導により、東チモールの教育支援・農業支援と各地の災害支援が主体となっておりましたが、今後は地元佐賀での活動にも注力していこうという声が上がっております。前回8月の総会で取り上げた、居場所のない子供達を支援する活動(佐賀子どもシェルターバールン、下津浦公氏)や、佐賀国際交流協会の活動支援(黒岩春地理事長)、当会理事の田口香津子氏のライフワークである佐賀県における女性や子ども虐待の問題など、身近で起きている支援の必要な課題にも取り組んでいきたいと考えております。

ケア・サポーターズクラブ佐賀の活動に対しまして、今後とも会員の皆様方の変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



副会長
安 永 恵子

去る10月7日、パレスチナの武装組織ハマスがイスラエルを急襲し、イスラエルも報復作戦を開始して、同日10日時点で2000人以上の死者が出ました。このレターが発行される頃には犠牲者の数は更に増えていることが予想されます。

CAREの人道活動は、戦争根絶に直結しているわけではありませんが、困難な立場にある人達に寄り添うことはいかなる局面でも必要です。早速、CAREでは現地の女性と女子に特化した支援や医療支援の準備を進めています。CAREの一員として世界情勢に目を向け、彼女たちにできることを考えて参りたいと思います。



理 事
木 下 晴 美

本当に外にでられないような暑い夏の日、コロナの流行で閉じこもりの生活が続きました。やっと彼岸になり一気に秋の透き通った風が吹き感染も下火になったのでマスク外し鏡をながめてみたらそれは頬が弛み老けてしまった顔がありました。また、歩くことが億劫になっていました。料理も手抜きになっていました。これは大変です。多くの方と会いお話を伺い聞くことの大切さ笑ったりすることの大切さを実感しました。テレビではだめなのです。皆さんまた集まりたくさんお話をいたしましょう。



理 事
田 口 香 津 子

令和4年3月に長年お世話になった学校法人旭学園 佐賀女子短期大学を退職し、4月より、佐賀県立男女共同参画センター・生涯学習センターアバンセの館長職(非常勤)を拝命しています。また、同時期に、佐賀市子ども・子育て支援専門アドバイザーという新しい職務(非常勤)も引き受けています。以前の管理業務よりも、仕事の方向性が女性・子ども・家庭の支援に焦点化され、当事者の方や関係者の方々と出会う機会が増えました。皆様、今後ともよろしくご指導ください。



理 事
古 宇 田 れ い 子

昨年度より名誉あるケア・サポーターズクラブ佐賀の理事としてお手伝いする事になりました。歯科医師の古宇田れい子です。2016年の創立当時より参加させていただき崇高な志を持った方々の集まりでとても好きな会でした。実は私の次男坊はまだ発展途上であるカンボジアにおいて歯科大の学生時代にボランティアで行って当地が気に入り、とうとうあちらで歯科医師として働いているところです。そういった背景もあり理事にさせていただいたと思います。力不足ですができる範囲はしっかり務めていく覚悟です。ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



監 事
赤 司 邦 昭

この夏、日本全国どこかで続いていた猛暑日も、10月にもなると過し易く朝には肌寒いとさえ感じる季節になりました。監事の職に就いて数年、コロナ禍の影響で会員の皆さんが一堂に集まる総会は書面での意見聴取という形で行われてきました。久々に開催された7月の総会は、参加者は少なかつたものの引き続き懇親会では懐かしむ会員の会話で活気あるものでした。今後は、皆さんと顔を合わせる機会を多く作り、いろんな意見を聞きながら佐賀のケア・サポーターズクラブらしい活動が必要だと思います。私も、職を通して、佐賀らしい活動が進められるよう手助けをしていきたいと思っています。



事務局長
齊 藤 美 代 子

『会員の皆様へ!お詫びとお知らせ』
今期の会報発行に当たり、まずは前期&今期、合併号となりました事心より、おわび申し上げます。前期はコロナ明けと言われながら各種イベント企画もありましたが、予定通り開催できず!それに伴い会報誌製作、発行に支障をきたし、準備を進めながら中止となりました。この関係で理事の皆様には早々と原稿をお願いしていただきましたので、今期の会報誌に流用させて戴く事になりました。心よりお詫び申し上げます。文中、少し時期的に合わない箇所もありますが、ご容赦頂きます様お願い致します。今後とも何卒よろしくお願い致します。

2022年12月3日 定例会



世界中の人が仲良く
心豊かに 健やかに
～土屋津以子さんが目指してきたこと～

ケア・サポーターズクラブ千葉の土屋津以子会長は、2021年春に、中国やロシアの方々との交流、カダと日本との間で長年続けられた交換学生の活動などが評価されて、国際シュバイツァー章を受賞されました。土屋様の長年にわたるボランティア活動をお話いただき、私たちも大変勉強になりました。今、世界のあちこちで再び戦争が起こっておりますが、その犠牲になるのは、いつも弱い立場の女性や子供たちです。私たちはケアの精神である女性と女子の自立支援が、今の時代だからこそ必要であると再認識できました。

WHS 佐賀!! 2023年3月8日～3月22日

国連が定める
世界水の日
3月22日

“歩く国際協力 in 九州”を2023年3月8日(国際女性デー)から3月22日(世界水の日)までの15日間、佐賀クラブがリーダーとなり、活動を行いました。お陰様で、法人40社以上、個人参加100人を超す参加をいただき、1,272,500円の収益がありました。この場をお借りしてご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

ケア・インターナショナルジャパンは
皆さまに支えられ
2022年5月11日をもって
設立から 35 周年を
迎えました!

ケア・インターナショナルジャパンが設立された1980年代、世界人口の40%以上が、極度な貧困状態にありましたが、様々な国際的な貧困対策や民間援助、又人々の自助努力により、2020年には9%をわずかに上回る水準にまで減少しました。

35 年間の歴史を
通じて、最も長く
取り組んできたこと!

それはアジア最貧国の1つ、東ティモールの人々への教育を通じた自立支援です。



会長よりメッセージ

日本でケアの活動が開始されましたのは、第二次世界大戦後の混乱がようやく落ち着いた1987年でした。戦後世界で最も貧しい国となった日本に対して、いち早く、脱脂粉乳をはじめとして、食料、日用品、本などを送ってくださったのが、CAREの団体でした。1987年当時、外務省を中心として世界に恩返しをしたいとの思いで発足したと聞いています。このような高い志のもとに始まったCAREの活動を、会員の皆様とともに今後もしっかり支えてまいりましょう。

ホームページ閉鎖のお知らせ

平素より当クラブの活動にご理解、ご支援いただき誠に有難うございます。さて、佐賀県のふるさと納税による寄附金活用のCSOに指定された時を同じくして開設しました当クラブホームページは、この度、諸般の事情により令和5年10月31日に閉鎖いたしました。開設以来、各年度の総会、講演会はじめ研修会や収支決算の状況など、更にはふるさと納税の返礼品サイトへのリンクとしてご愛顧いただきまして、深く感謝するとともに心からお礼申し上げます。今後は、当クラブの活動状況等については公営財団法人 ケア・インターナショナルジャパンのWeBサイトをご利用いただきますようお願いいたします。

活動記録と予告

- 理事会：R4/7月～<1回/2ヶ月毎> その他 緊急事業時：都度
- 総会：本年度はコロナ明けによる影響を受け開催準備しましたが、中止となり『書面表決』と2回の業務になりました。
- 事業：今期『WHS』歩く国際協力！佐賀担当の為、本部とのやり取り、参加者募集、企業様ご協力お願い等 R5/2月～4月中旬迄初めての作業で中々大変でした。
- その他：特別定例講演会開催・12月3日千葉より『ケア・サポーターズクラブ千葉』土屋会長にお越し戴きました。
- ★今年度の感想：今年度の事務局業務は特に『WHS』担当で、約3か月間にわたり、電話・FAX・資料送・更に終了後の記念品や参加品送り・ご協賛企業様へお礼業務等！かなり多忙でしたが、先頭に立たれた会長のご尽力と会員皆様のご協力で素晴らしい成績と結果を残せました事、お礼申し上げます！

安倍会長ご逝去 2024年2月4日



ケアフレンズ東京の名誉会長を務められ、長きにわたりケア・インターナショナルジャパンを牽引なさった安倍洋子様のご逝去なさいました。4月11日に、ホテルニューオオタニ東京においてお別れの会が開催され、当会から役員1名が参加しました。安倍様は、70歳の時に誰かのために尽くしたいと決意なさり、以来25年にわたりケア・インターナショナルジャパンの活動に尽力なさって来られました。お別れの会には安倍様を慕う沢山の方々が集まり、太陽のように包み込むような優しさをお持ちであったこと、気さくに話しかけていただいたことなど、それぞれが安倍様との思い出を語り合い、安倍様の生前のご活躍に思いを馳せました。ケア・インターナショナルジャパンがここまで活動を続けられたのは、間違いなく安倍様のご尽力があったからこそです。改めましてご冥福をお祈り申し上げます。

ケアフレンズ東京の名誉会長を務められ、長きにわたりケア・インターナショナルジャパンを牽引なさった安倍洋子様のご逝去なさいました。4月11日に、ホテルニューオオタニ東京においてお別れの会が開催され、当会から役員1名が参加しました。安倍様は、70歳の時に誰かのために尽くしたいと決意なさり、以来25年にわたりケア・インターナショナルジャパンの活動に尽力なさって来られました。お別れの会には安倍様を慕う沢山の方々が集まり、太陽のように包み込むような優しさをお持ちであったこと、気さくに話しかけていただいたことなど、それぞれが安倍様との思い出を語り合い、安倍様の生前のご活躍に思いを馳せました。ケア・インターナショナルジャパンがここまで活動を続けられたのは、間違いなく安倍様のご尽力があったからこそです。改めましてご冥福をお祈り申し上げます。



予告 定例総会 2024年8月4日



公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパンを常日頃よりご支援いただき、厚くお礼申し上げます。この度当財団の事務局長に就任した児玉光也です。前事務局長からのバトンを受け、その重責に身が引き締まるとともに、新しい挑戦ができる事におおきな期待と喜びを感じています。どうぞよろしくお願い致します。

今年4月から、CARE ジャパンに新しく事務局長としてご就任された児玉光也氏は、何と、佐賀県鳥栖市のご出身で、鳥栖の若葉小学校隣がご実家だそうです。2024年8月4日の佐賀クラブ総会で、CARE 本部の活動報告をしていただくことになりました。佐賀の会員とケア本部との意見交換を行い、今後の活動に活かしていきたいと考えております。

活動記録と予告

- 理事会：R5/7月～R6/6 <1回/2ヶ月毎>
- 総会：R5/7/23 会場 ホテルニューオオタニ佐賀 ▶特別会員研修会 担当 講師 安永副会長・田口理事 演題『佐賀県内の子供シェルターについて』特別講師『佐賀子どもシェルター・バルーン』理事長 下津浦 公氏
- 事業計画 ▶特別講演会 R5/11/23 講師 神戸学院大学教授 演題『美しい国・ウクライナ』岡部 芳彦氏
- ★会員の皆様へご報告：2024年2月4日 ケアフレンズ東京・名誉会長 安倍洋子様のご逝去 されました。25年にわたり、ケア・インターナショナルジャパンの活動にご尽力され、私どもの先頭に立たれ、尽くされておられました。

◆お別れの会がR6/4/11に東京で行われましたので、当会より安永副会長が参列されました。会員一同心より、感謝の心でご冥福をお祈りしたいと思っております。

2023年7月23日定例総会



佐賀県内で子どもシェルターを運営なさっている佐賀子どもシェルターばるーん(特定非営利活動法人 佐賀子ども支援の輪)理事長の下津浦公氏をゲストに、子どもの権利に関する勉強会を行いました。ばるーんは、虐待や放任等により自分の家で生活することが難しい13歳から20歳までの子ども達に住む場所を提供し、24時間体制で寄り添い、自立に繋げる活動をなさっています。下津浦氏以下、ほとんどのスタッフが手弁当でばるーんの運営にあたっており、運営資金の問題や、非行が著しい子どもとの関係構築等、ご苦労が絶えないとのことでしたが、子ども達の未来に携わる重要性を説く下津浦氏からは、そのご苦労を微塵も感じさせない力強さを感じました。私たちも佐賀県内の子ども達の支援に関わる必要性を痛感いたしました。

特別講演会

2023年11月23日



現在、神戸学院大学教授、日本ウクライナ協会会長で、ウクライナの情勢にお詳しく、ゼレンスキー大統領とも親交のある岡部芳彦氏を講師にお迎えして、ウクライナの歴史、日本との関わり、現在のウクライナの現状などを、お聞きしました。会場にウクライナの民族衣装を纏い、颯爽と現れた岡部先生は、本場にウクライナをよくご存知であると同時に、ウクライナとその国の人々を大事に思っておられました。日本もウクライナも、ロシアにとっては同じ隣国であるということに言及され、人ごとではなく、自分のこととして捉えるべきと改めて気付かされました。

